



2023年10月10日

各位

会社名 株式会社 チョダ
代表者名 代表取締役社長 町野 雅俊
(コード番号 8185 東証プライム市場)
問合せ先 取締役財務本部長 今田 至
(TEL. 03-5335-4134)

2024年2月期第2四半期連結業績予想の修正及び棚卸資産評価損の計上に関するお知らせ

2023年4月14日に公表しました2024年2月期第2四半期連結業績予想の修正及び棚卸資産評価損の計上をいたしましたのでお知らせします。

1、2024年2月期第2四半期連結業績予想の修正（2023年3月1日～2023年8月31日）

| | 売上高 (百万円) | 営業利益 (百万円) | 経常利益 (百万円) | 親会社株主に帰属 する四半期純利益 (百万円) | 1株当たり 四半期純利益 (円) |
|------------------------------------|--------------|---------------|---------------|-------------------------------|------------------------|
| 前回発表予想 (A) | 48,500 | 600 | 750 | 570 | 16.26 |
| 今回修正予想 (B) | 48,089 | 927 | 1,070 | 830 | 23.65 |
| 増減額 (B-A) | △411 | 327 | 320 | 260 | 7.39 |
| 増減率 (%) | △0.8 | 54.5 | 42.7 | 45.6 | — |
| (ご参考) 前期第2四半期実績 (2023年2月期第2四半期) | 46,268 | △832 | △714 | △1,075 | △30.68 |

2、修正の理由

(第2四半期連結業績予想)

靴事業では、プライベートブランド商品販売強化の為、子会社を通じた仕入を増加させており、これらの商品の販売が好調に推移した為、売上総利益率が0.5pt計画を上回る見通しとなりました。また、不採算店舗の閉鎖、人事効率の改善などにも取り組み管理費を削減したことで、営業利益が計画を上回る見通しとなりました。

衣料品事業では、売上が計画を下回る見通しですが、不採算店舗の閉鎖、広告宣伝費の削減、抜本的な本部構造改革による徹底したコストの圧縮を図るなど販管費の最適化を推進することで、営業損失の拡大を抑制する見通しとなりました。

以上の結果、第2四半期連結業績予想を上回る見通しとなりました。

(通期連結業績予想)

2023年10月以降トモエ商事株式会社の業績を連結に組込むこと、及び天候等諸条件が不確実な為、通期連結業績予想は当初計画を据え置いています。

(個別業績予想)

個別業績予想につきましては、第2四半期業績予想及び通期業績予想に変更はありません。

3、棚卸資産評価損の計上

店舗の商品鮮度の向上を目的として、仕入から一定の期間を超える商品を滞留在庫として、直近の販売実績に照らした販売可能性及び滞留在庫の判定を行った結果、棚卸資産評価損を2024年2月期第2四半期（累計期間）において、連結609百万円、個別558百万円を売上原価に計上いたしました。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表時点において収集可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上